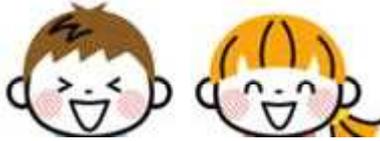


ありがとう

【教育目標】
 ○夢や目標に向かって、仲間とともに主体的に学ぶ児童・生徒の育成

【合い言葉】
 ○「ありがとう」でもっとつながる大畑小

発行 大畑小校長 森下秀一



2学期がスタート



今年の夏休みは、雨が続いて蒸し暑かったり35度以上の猛暑日が続いたりして、皆様も感染症対策に加え、熱中症対策で大変な夏だったと思います。

そんな中、大畑小の子どもたちは、大きな事故もなく無事に夏休みを過ごすことができました。これも保護者の皆様、地域の皆様のおかげです。**ありがとうございました。**

さて、2学期がスタートしました。子どもたちが登校した途端、**学校は子どもたちのきらきらした表情や賑やかで明るい声で包まれています。**

今日の昼休みには、暑い中でもサッカーをしている子どもや1年生と一緒に遊んでいる6年生、担任の先生と鬼ごっこをしている子どもたちなど、それぞれが思い思いに楽しそうに過ごしていました。



ただ、ご存じのように今年の夏は新型コロナウイルス感染症の拡大が続いており、まだ大畑小の子どもたち全員がそろった日はありません。

今後もマスク着用や手洗いや消毒の継続、換気の徹底など、できる感染対策を実行していきたいと考えています。

子どもたちの安全・安心面を第一に考えながら、対応を図ってまいります。

連絡やお知らせ等に関しましては、その都度安心・安全メールや大畑小ホームページ等でお伝えしていきますので、チェックをよろしくお願いします。



ところで、子どもたちの中には、長い休みのあとで、「生活のリズム」を戻すのに苦労したり、気が重かったりしている人もいることでしょう。

まずは、「生活のリズム」を「学校型」に戻すことが大切です。そして、「生活のリズム」を戻すには「体のリズム」をつくるのが一番です。「**体のリズム**」をつくるには、「**早寝、早起き、朝ご飯**」がおすすめです。「**体のリズム**」が整うことにより、**気力と体力が生み出されます。**



先日、県からのお知らせを配付しました。熊本県では9月1日から15日まで「**くまもと早ね、早おき、いきいきウィーク**」になっています。(大畑小HPにも掲載中)

ご家庭でも「体のリズム」を整え、子どもたちが少しでも早く規則正しい「生活リズム」に戻せるように、ご協力いただければと思います。

『ありがとう』でもっとつながる大畑小

ありがとう

谷川俊太郎

空 ありがとう

今日も私の上に来てくれて

曇っていても分かるよ

宇宙へと青くひろがっているのが

花 ありがとう

今日も咲いていてくれて

明日は散ってしまうかもしれない

でも匂いも色ももう私の一部

お母さん ありがとう

私を生んでくれて

口に出すのは照れくさいから

一度っきりしか言わないけれど

でも誰だろう 何だろう

私に私をくれたのは？

限りない世界に向かって私は呟く

私 ありがとう

私の好きな詩人に**谷川俊太郎さん**がいます。

その谷川さんがつくった詩に「ありがとう」という詩があります。(左の詩です。一度読んでもらえるとうれしいです。)

谷川さんは、この詩で、空が存在してくれていること、花が咲いていてくれること、お母さんが私を生んでくれたこと、そして、最後の連で私と私自身をくれた全ての世界に感激して、「私 ありがとう」と呟きます。なんとすてきな感性でしょうか。

さて、今年度の大畑小の合い言葉は、上にあるように【「ありがとう」で、もっとつながる大畑小】です。

今までは、「ありがとう」という文字を頭文字にした5つの目標を子どもたちには話をしてきました。

でも、2学期の始業式では、「『ありがとう』という言葉を1日1回は声に出して言えるようになろう」とストレートに伝えました。

実際、「おはようございます」や「こんにちは」という言葉は1日に何度も使っていますが、「ありがとう」という言葉はそんなに使えていない人も多いのではないのでしょうか。

私たちは、東日本大震災や熊本地震、令和2年7月豪雨災害で、**当たり前だと思っていた日常生活の有り難さを知りました。**

でも、時が過ぎると毎日の生活のあわただしさの中で、その有り難さを忘れてしまいがちです。

私は「ありがとう」という言葉は、最高レベルの言葉だと思っています。そして、子どもたちにはその「ありがとう」を素直に言える子になって欲しいなと思います。

なぜなら、「ありがとう」が言えることはこれからよりよく生きる上でとても大きな力となると考えているからです。

毎日たくさん「ありがとう」と言えば、なんでも「ありがたいなあ」と思えて生活の中でたくさんの幸せを感じることができます。

また、「ありがとう」は、周りの人の力も引き出すことができます。人に感謝されると、がんばろうとする気持ちが自然と湧いてきて前向きになれることが多いものです。

「ありがとう」の言葉は、言った人も言われた人も Win-Win(ウィンウィン)の関係が築ける魔法のような言葉です。

実際に、感謝の中で育った子どもは、自分の生きる社会に安心感を持ち、自分や人を大切にするとされています。

だから、**まず私たち大人がたくさん「ありがとう」を言葉にして、子どもたちに伝えられたらいいなと思っています。**そのためには、日常の当たり前を見つめ直し意識して「ありがとう」を伝えていくことが始まりだと思います。

大畑にたくさんの「ありがとう」の花を咲かせて、広げていきたいですね。

「ありがとう」という言葉は、自分の心を優しくしてくれる。「ありがとう」という言葉は、相手の心を優しくしてくれる。「ありがとう」という言葉は、人と人をつなぐ。そして、人と人がつながれば、人はもっと元気になれる。(中学生人権作文より抜粋)